

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所内はバリアフリー化されています。	保護者様の送迎をビルの入り口で行う等、個人の状況に応じてご利用しやすい方法を提案、実施してまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所の職員で目標の設定と確認、及びフィードバックを行えるよう適宜ミーティングを実施しています。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様に事業所アンケートへのご協力をいただき、業務改善に取り組んでいます。	アンケート実施の際は多くのご意見をいただけるようおたより等でお知らせいたします。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール東戸塚教室のホームページにて公開しております。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、実施しておりません。	現在は、事業所・保護者様の二者評価です。今後、必要に応じて第三者評価を検討してまいります。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に職員研修を実施しています。また、外部の研修に参加する機会を確保しております。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動報告や保護者様との連絡内容等をふまえ、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所の職員で話し合いながら行っています。	今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			お子様の特性や課題に応じて内容を日々検討しています。定期的に玩具の入替を行うことで様々なルール遊びに挑戦する機会を設けています。	今後も継続していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	長期休暇にはお子様の意向も踏まえながら季節の行事などを取り入れることを検討いたします。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに、お子様の意向を踏まえ活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス提供開始前に、当日の動き、注意事項を職員間で確認しています。	今後も継続していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			サービス提供終了後に、職員間で支援内容の振り返りや情報共有を行っています。	今後も継続していきます。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援終了後に毎回活動記録をつけています。その内容を元に、次回以降の支援内容の検討を行っています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6カ月に1回実施しており、その際に個別支援計画の作成を行っています。お子様の様子、保護者様のご要望に応じて適宜面談も実施しています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		個別支援計画に沿って、ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせた活動内容を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参画します。今年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、実施はありませんでした。	必要に応じて、担当者が会議に参画いたします。
	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者様、お子様を通して年間行事等の情報共有を行っています。また、お子様の状況に応じて関係機関連携を実施しております。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、学校との直接の連絡・連携を提案いたします。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療職職員を配置していないため、ご利用については事前に主治医、保護者様とご相談させていただきます。	今後も継続していきます。
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者様を通して支援内容や支援計画等の情報を提供していただいています。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当のお子様がいりません。	今後該当の方がいらっしゃった場合は、ご家庭のご要望に応じて、状況提供を検討していきます。
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援センター主催の研修会に参加し、日々の支援に反映させています。	今後も継続していきます。
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、実施しておりません。	お子様の活動スケジュール上、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。可能性については随時検討していきます。
	㉘	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		戸塚区の協議会に代表者が参加しています。	今後も継続していきます。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動終了後に活動記録で報告させていただいております。また適宜メールやLINE、お電話でご相談や情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現在、実施しておりません。	保護者様からご相談いただいたお困り事等に対して助言、提案をさせていただいております。ペアレントトレーニングについては今後検討していきたいと思っています。
	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約の際にご説明しています。また変更時にはお便り等でお知らせしています。	今後も継続していきます。
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談時やお困りごとが生じた際にお話をさせていただいております。	今後も継続していきます。

保護者への説明責任等	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、実施しておりません。	保護者様のご要望等を踏まえ、今後検討していきたいと思います。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご契約の際にご説明しています。また対応窓口について、教室内の掲示や定期的にお便りに記載して周知しています。	今後も継続していきます。苦情をいただいた際は、対応フローに従って迅速かつ適切に対応をします。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			オレンジスクール東戸塚教室のブログの更新、毎月おたよりの発行を行っています。	今後も継続していきます。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管をしています。また、教室内のパソコンには全てパスワードを設定しています。	ご家庭に個人情報書類を郵送する際は、事業所内で二重チェックを行い、細心の注意を払うように気を付けてまいります。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の特性に合わせた情報伝達の手段を使用するよう心がけております。また、保護者様にはメールやLINE、紙面等でお伝えしています。	今後も継続していきます。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、実施しておりません。	保護者様、お子様のニーズをふまえて検討していきます。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し、職員間で共有しています。	保護者様にもご周知いただけるよう掲示場所や方法を工夫してまいります。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			学校の長期休暇を利用し、春と夏に避難訓練を行っています。期間中お子様全員に参加いただけるように日程を組んでいます。	今後も継続していきます。
	㉜	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内でマニュアルを作成し、研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			ご契約の際に身体拘束に関わる事項の説明を行い、書類にご署名をいただいております。	やむを得ず身体拘束を行った場合は活動記録に記載いたします。身体拘束を行うことがないよう支援方法を工夫してまいります。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事、おやつ提供は実施しておりません。	今後の実施する予定はございません。
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日ヒヤリハットの記録をつけ、職員間で共有しています。怪我につながらないよう職員間で対応策を協議しています。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚教室
保護者数（児童数）：49（51） 回収数：37 割合：75.5%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	1	0	・実際の活動を見ていないので不明。	活動する児童の人数を踏まえてスペースを確保しております。人数が多い時には机を移動して広さを確保しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	33	3	0	・専門的な知識はあると思う。	今後も研修や勉強会に参加し、適切な支援を行えるよう努めてまいります。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	13	8	・教室までエレベーターがない。 ・階段の勾配がきつい。2階に同じ事業所があるなら2階を低学年にするなど配慮してほしい。 ・階段しかない施設なのでなんとも言い難い。	事業所が4階にある点につきましてご不便をおかけし申し訳ございません。お子様や保護者様の状況に応じてできる限り対応させていただきますので、個別にご相談くださいませ。
適切な 支援提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	35	2	0	・客観的な分析はまだ。	概ね6か月に一度のモニタリングを実施いたします。その際に提供した支援の客観的評価を行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断いたします。
	⑤ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	30	7	0	・個別の面談でその都度内容を確認し、その時の課題にあったものに変更してもらっている。 ・固定化していた方がよい。	学習、活動の内容については様々な選択肢をご提供できるよう定期的に見直し、検討を行ってまいります。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 7	9	不必要 21	・学習メインのサービスと認識している ので不要。 ・学校のクラスメイトと遊ぶので必要ない。	交流の機会につきましては、事業所の体制、保護者様、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討してまいります。
保護者 への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	2	0	・日ごろからの共通理解はできていないが、子どもが楽しそうに帰ってくるので良い。	お子様の成長や環境の変化に伴う発達の状況、課題の変化については定期的なモニタリングやLINE連絡にてお伺いし、職員間でも共有いたします。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	0	1		
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 5	6	不必要 26	・保護者同士のつながりは、各々プライベートであると思うので、そこに必要性は感じない。 ・保護者が交流できる場があればいいと思う。	今後必要性が高まってきた際には検討してまいります。事業所に親子支援や地域活動に関するお知らせがございますので、ご活用くださいませ。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	7	0	・見えない部分なのでわからない。 ・苦情等がないのでわからない。（複数回答）	苦情受付については、事務所玄関右手に掲示しております。ぜひご確認ください。規定のフローに従って対応いたします。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	0	0	・不明	HUGで日々の活動記録を閲覧いただけます。また電話、LINE、メールなど複数の手段がございますので、ご都合のよい方法でご連絡いただけるようにしております。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	36	1	0		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	37	0	0		
非常時 等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	4	0		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	2	0	・建物の構造上、避難経路が一か所しかないのは心配。	定期的に職員間で緩降機の扱い方についての確認を実施しております。避難経路からの避難が難しい場合には、緩降機を使用して避難誘導を行います。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	28	3	0	・特に嫌がることもなく通えているので、親以外の大人と話す貴重な時間になっている。	お子様との信頼関係の構築に努め、気軽に会話や相談ができるような居場所作りを目指していききたいと思います。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	30	1	0		

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

・事業所が4階にあるため、個別の事情に応じて面談や送迎について利用しやすい方法の提案を行っている。

B 児童への支援内容

・児童の学習や活動状況について情報共有を行い、対応する指導員が変わっても一貫した支援を提供できるようにしている。
・保護者様との面談を通じて、児童の進路や意向に沿った支援内容を検討している。

C 関係機関との連携

・戸塚区協議会へ参加している。
・保護者様のご要望に応じて学校連携を実施し、児童の様子について直接先生と情報共有を行った。

D 保護者への説明責任・信頼関係

・活動報告に加え、電話やLINE、メール等で学習状況や児童を取り巻く状況について相談、連絡をいただいた。

E 非常対応

・年に二回避難訓練を実施している。
・虐待や身体拘束について必要な研修を実施している

保護者による評価

A 環境面

・事業所自体がビルの4階に位置しており、エレベーターがない点はバリアフリーとは言い難い。

B 児童への支援内容

・個別の面談でその都度内容を確認し、その時の課題にあったものに変更してもらっている。
・活動内容は固定化していた方がよい。
・学校で他の児童と関わっているため、障害のない子どもとの関わりに必要を感じない。
・子どもは楽しく通っている。

C 事業所からの情報発信

・苦情の対応についてはわからない。
・日ごろからの共通理解ができてはいない。
・おたよりやホームページでの情報発信について理解が得られている。

D 非常対応

・避難経路が一か所のみということに不安がある。
・定期的な避難訓練の実施が周知されているようだった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・面談を通して情報共有を行い、児童の状況に応じた課題設定や支援内容にしている。
- ・定期的な避難訓練の実施に理解を得られている。

【相違点】

- ・日ごろからの情報共有については行われていない、という意見があった。
- ・避難経路が一か所のみという点に対して不安がある、という意見があった。
- ・苦情の対応についてはわからない、という意見があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 面談での支援内容の共有や事業所での支援方針について保護者様の理解をいただいている。
- ・ おたよりや活動記録等で事業所からの発信を適宜ご確認いただいているため、保護者様との必要な情報共有を行いやすい。

事業所の改善点

- ・ 日ごろからの情報共有について不足を感じさせる面がある。
- ・ 非常災害時の避難経路について、階段以外の避難方法が周知されていない。
- ・ 苦情受付体制について、ご契約時に説明、教室内への掲示を行っているが周知されていない。

事業所の改善への取り組み

- ・ 事務連絡や面談での情報共有だけでなく、お子様の様子について事業所側からお話したり、保護者様にお伺いしたりする機会を設ける。また、気軽にお話や相談がしやすいオープンな事業所運営を目指す。
- ・ 緩降機を使った避難方法についてお知らせし、安心してご利用いただけるようにする。
- ・ 苦情受付体制について、おたよりで定期的に発信を行い、周知につなげる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度から続く新型コロナウイルスの影響により今年度もご不便をおかけする中、いつも事業所運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

アンケートの欄外には温かい言葉を頂戴し、また事業所の支援にご満足いただいていると大多数の方にご回答いただきましたこと、職員一同たいへん励みになります。

今回いただいたご意見につきましては真摯に受け止め、お子様や保護者様がより安心してご利用いただけるよう情報の発信や共有を行ってまいります。

事業所名 オレンジスクール 東戸塚教室

担当者 小野寺 由佳